

猪苗代湖サイト

—福島県耶麻郡猪苗代町—

猪苗代湖は福島県のほぼ中央に位置し、面積 104.42 km² の国内で 4 番目に大きい湖です。湖岸線長 51.4 km、最大水深 94.6 m (平均水深 51.5 m) で、湖心を中心にすり鉢状の形状をしています。水質は弱酸性を示し、貧栄養湖です。しかし近年、湖水の中性化が顕著に進行しており、水質の悪化が懸念されています

猪苗代湖は磐梯朝日国立公園に指定されているほか、福島県指定の鳥獣保護区にも指定され、また、「猪苗代湖ミズスギゴケ群落」と「猪苗代湖のハクチョウおよびその渡来地」が国指定天然記念物に指定されています。



猪苗代湖の湖面から磐梯山を望む
(2016年8月5日 撮影)



採集されたナガレイトミミズ
(ミズミズ科 ナガレイトミミズ亜科 *Rhyacodrilus coccineus*)



湖心(水深93.0 m)の湖底から
エクマン・バージ採泥器を引き上げる調査員
(2016年8月5日 撮影)

2016 年度の調査結果概要

調査は 2016 年 8 月 5 日に実施しました。底泥の採取は、湖心 (水深 93.0 m)、上戸沖 (水深 58.4 m)、長浜沖 (水深 48.1 m) の 3 地点でおこない、いずれの調査地点でも底泥表面に赤褐色の酸化層が確認されました。最深部 (湖心) のマクロベントス群集は 2 種の貧毛類、イトミミズとナガレイトミミズのみからなり、このうちイトミミズが個体数の 70% を占めていました。両種とも環帯を持った成熟個体を含み、それぞれに対応すると思われる 2 種類の卵包も確認されました。上戸沖ではイトミミズが、長浜沖ではナガレイトミミズがそれぞれ出現し、ユスリカ類も両地点でわずかに確認されました。このほかメイオベントスとして、ウズムシ類、カイアシ類 (ケンミジンコ目とソコミジンコ目)、貝形虫類が確認されました。

【調査者】
西野麻知子 (びわこ成蹊スポーツ大学)、大高明史 (弘前大学)、
横井謙一・加藤 将 (日本国際湿地保全連合)



採集されたイトミミズ
(ミズミズ科 イトミミズ亜科 *Tubifex tubifex*)



湖心(水深93.0 m)から採取した底泥
表面の赤褐色の部分は酸化層
(2016年8月5日 撮影)



イトミミズ類 2 種の卵包
(左:ナガレイトミミズ、右:イトミミズ)